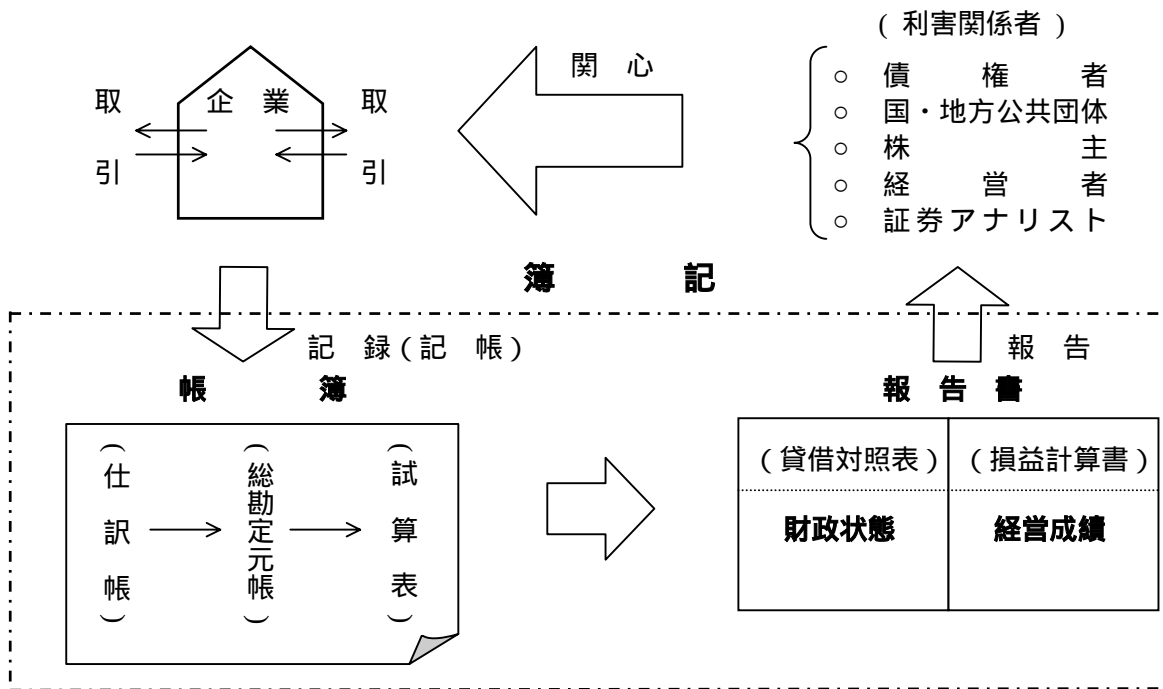


TAC簿記検定講座
無料公開セミナー

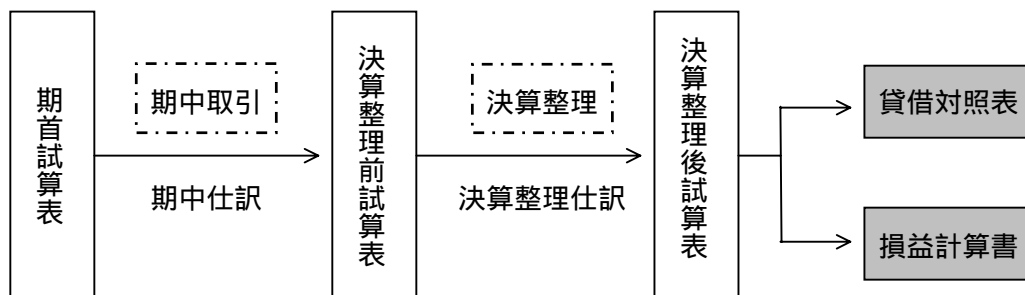
はじめて学ぶ簿記一巡

～日商簿記3級合格への布石～

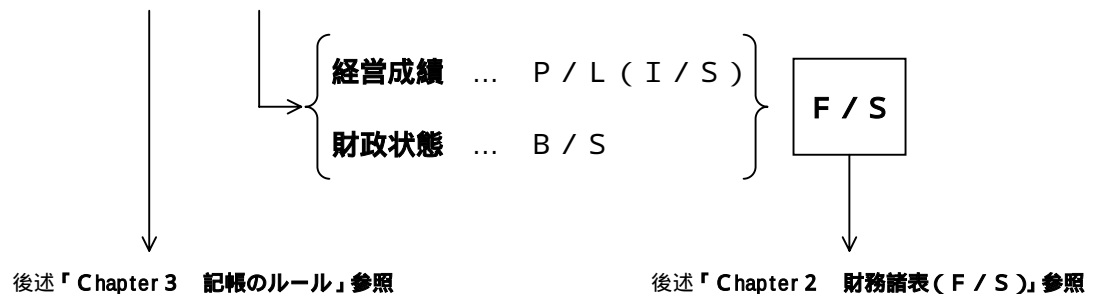
Chapter 1 簿記一巡の手続



• 時間的な流れ



• 簿記の2要素 ... 記録と報告



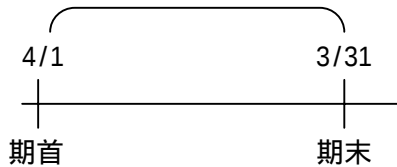
Chapter 2 財務諸表 (F / S)

● 損益計算書 (P / L、I / S)

...一定期間における経営成績を明らかにする

<ex> 会 計 期 間

利益 ? or 損失 ?



$$\begin{aligned} \text{当期純利益} &= \text{収 益} - \text{費 用} \\ &\quad (\text{収 益} > \text{費 用}) \\ \text{当期純損失} &= \text{収 益} - \text{費 用} \\ &\quad (\text{収 益} < \text{費 用}) \end{aligned}$$

<ex>

売 上	3,000	...収 益	差 額 [() ()]
給 料	1,500	...費 用	
家 賃	300	...費 用	

損 益 計 算 書

〇〇商会	自平成×1年4月1日	至平成×2年3月31日	(単位:円)
()	金 額	()	金 額
()	()	()	()
()	()		
()	()		
	()		()

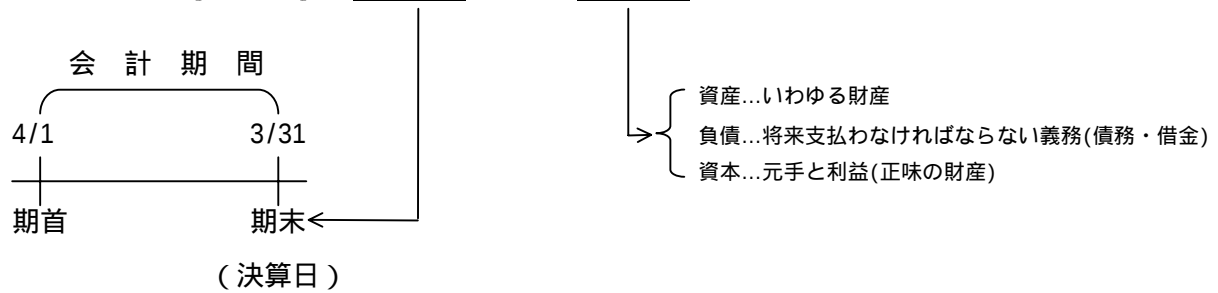
● 収益・費用・利益の関係

P / L

費用 1,800	収益 3,000
利益 1,200	

$$\text{収 益} - \text{費 用} = \text{当期純利益}$$

● 貸借対照表 (B / S) ...一定時点における財政状態を明らかにする



ex

4 / 1 (期首)

資 産		負 債	
現 金	4 0 0	借 入 金	3, 6 0 0
備 品	2, 0 0 0	資 本	
土 地	5, 0 0 0		
差額 3, 8 0 0		期首資本 3, 8 0 0	

3 / 3 1 (期末)

資 産		負 債	
現 金	1, 0 0 0	借 入 金	3, 0 0 0
備 品	2, 0 0 0	資 本	
土 地	5, 0 0 0		
差額 5, 0 0 0		期末資本 5, 0 0 0	

$$\text{期末資本} = \text{期首資本} + \text{当期純利益}$$

$$\begin{aligned} \text{期末資本} - \text{期首資本} &= \text{当期純利益} \\ (\text{期末資本}) > (\text{期首資本}) &\quad \updownarrow \\ \text{期末資本} - \text{期首資本} &= \text{当期純損失} \\ (\text{期末資本}) < (\text{期首資本}) \end{aligned}$$

貸 借 対 照 表

〇〇商会

平成×2年3月31日

(単位: 円)

()	金 額	()・()	金 額
()	()	()	()
()	()	()	()
()	()	()	()
()	()		

● 資産・負債・資本の関係

期首 B / S		期末 B / S	
資 産 7,400	負債 3,600	資産 8,000	負債 3,000
	資本 3,800		資本 5,000

→

・ 資 本 金 3,800
・ [] ()

《 ま と め 》

P / L	費 用 ...	給料、支払家賃、支払地代、保険料、通信費、支払利息など
	収 益 ...	売上、有価証券売却益、受取配当金、受取利息など
B / S	資 産 ...	現金、預金、受取手形、売掛金、貸付金、土地、建物など
	負 債 ...	支払手形、買掛金、借入金、社債など
	資 本 ...	資本金、資本準備金、利益準備金など

簿記の5大要素 勘定科目(巻末の勘定科目一覧表参照)

重 要

5要素の関係

B / S	・ 資 産 - 負 債 = 資 本
	・ 期 末 資 本 - 期 首 資 本 = 当 期 純 利 益
P / L	→ ・ 収 益 - 費 用 = 当 期 純 利 益

Chapter 3 記帳のルール

- 取引 ... 簿記上は財務諸表（B / S の 3 要素）に影響を与える出来事

	一 般	簿 記 上
契 約、口 約 束	○	×
火 災、盗 難	×	○

- 勘 定 ... 簿記上の取引を記録するための帳簿上の道具

	資産（グループに属する a/c 科目）	負債（グループに属する a/c 科目）	資本（グループに属する a/c 科目）
B / S	+	+	+
	費用（グループに属する a/c 科目）	収益（グループに属する a/c 科目）	
P / L	+	+	



- 仕 訳 ... 企業の取引を借方と貸方に分類し、勘定科目と金額を記入する作業

4/1 取 引 ... 現金 2,000 円を元入れして開業した。

取引の分解 ... [資 産] の (+) [資 本] の (+)

[現 金] [資 本金]

+

2,000 2,000

仕 訳

[現 金] (2,000) / [資 本金] (2,000)

9/ 4 取引 ... 事務所の家賃600円を現金で支払った。

取引の分解 ...

仕 訳

$$\left\{ \begin{array}{l} \text{ } \end{array} \right\} (\text{ }) / \left\{ \begin{array}{l} \text{ } \end{array} \right\} (\text{ })$$

12/ 1 取 引 ... 現金 1, 0 0 0 円を銀行より借入れた。

取引の分解 ... []の()

仕 訳

$$\left\{ \begin{array}{l} \text{ } \end{array} \right\} (\text{ }) / \left\{ \begin{array}{l} \text{ } \end{array} \right\} (\text{ })$$

2/25 取引 ... 営業用車両を700円で購入し、代金は現金で支払った。

取引の分解 ... []の() []の()

[]

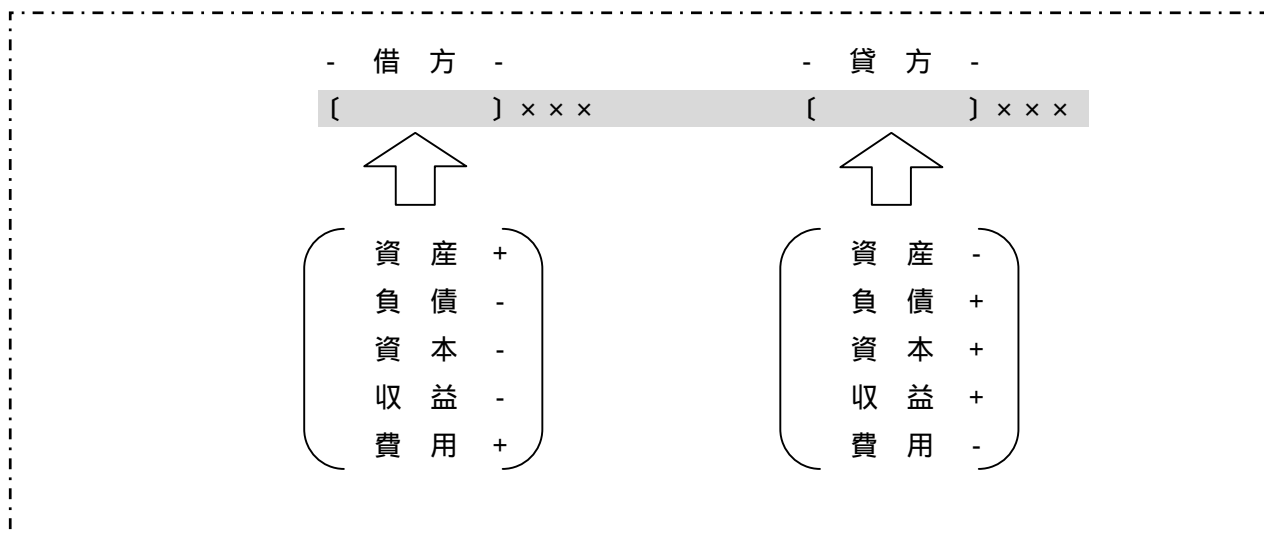
[]

仕 訳

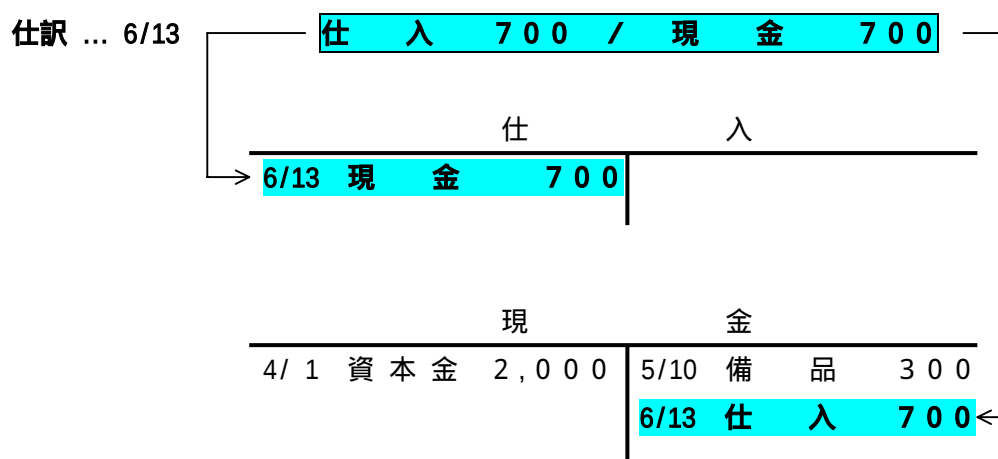
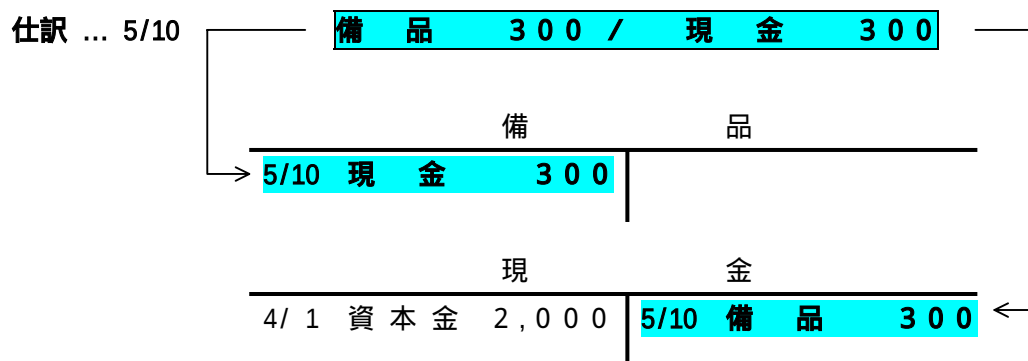
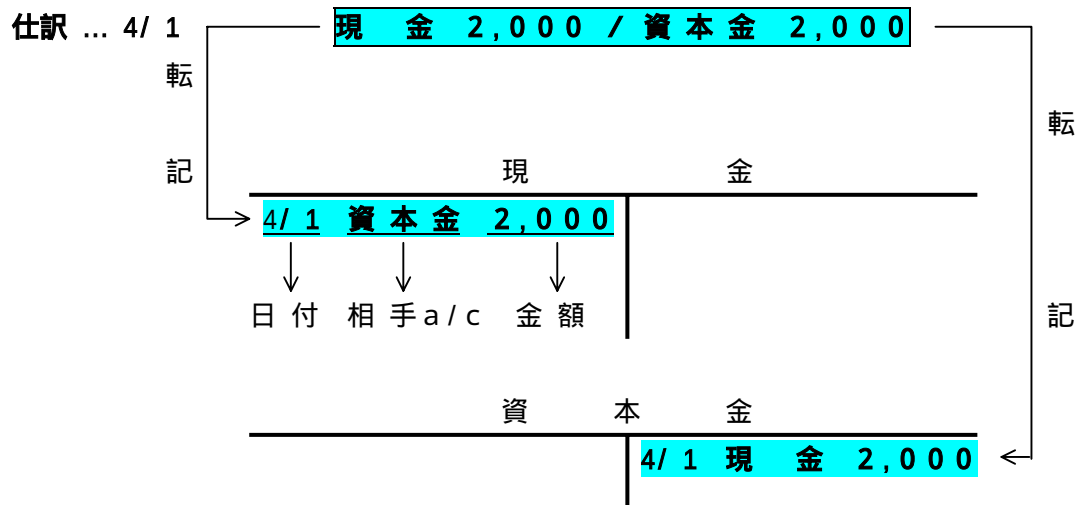
$$\left[\begin{array}{c} \vdots \\ \vdots \\ \vdots \end{array} \right] \left(\begin{array}{c} \vdots \\ \vdots \\ \vdots \end{array} \right) / \left[\begin{array}{c} \vdots \\ \vdots \\ \vdots \end{array} \right] \left(\begin{array}{c} \vdots \\ \vdots \\ \vdots \end{array} \right)$$

一つの取引について、借方(左側)と貸方(右側)の金額合計は必ず一致する。
(貸借平均の原則)

《 ま と め 》



- **転記** ... 勘定科目ごとの増減を明らかにするため仕訳を各 a/c に書き移す作業



仕訳 ... 7/ 4

現 金 1,500 / 売 上 1,500

現		金	
4/ 1	資本金 2,000	5/10	備品 300
7/ 4	売 上 1,500	6/13	仕入 700
売		上	
		7/ 4	現 金 1,500

仕訳 ... 9/ 4

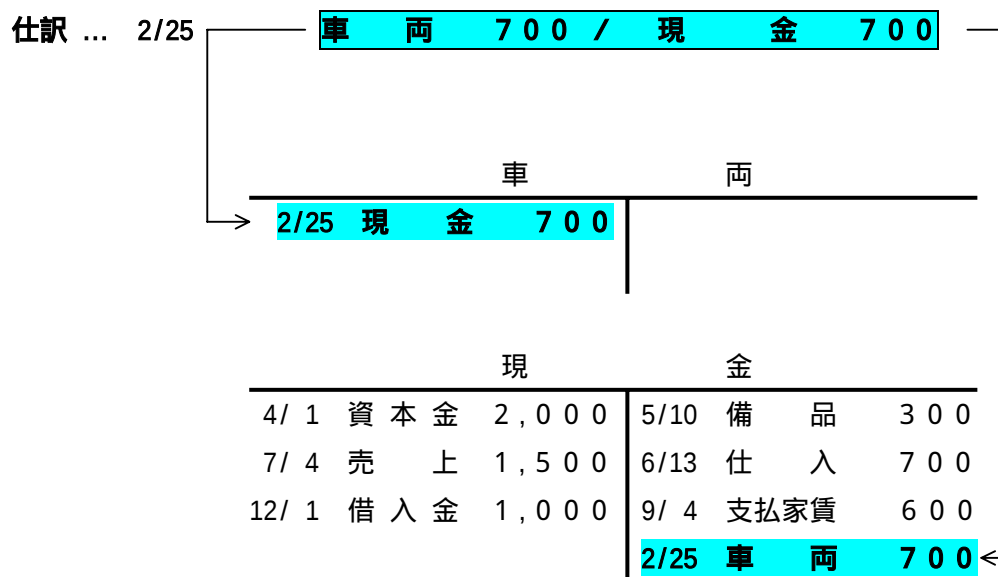
支払家賃 600 / 現 金 600

支 払 家 賃			
9/ 4	現 金 600		
現		金	
4/ 1	資本金 2,000	5/10	備品 300
7/ 4	売 上 1,500	6/13	仕入 700
		9/ 4	支払家賃 600

仕訳 ... 12/ 1

現 金 1,000 / 借入金 1,000

現		金	
4/ 1	資本金 2,000	5/10	備品 300
7/ 4	売 上 1,500	6/13	仕入 700
12/ 1	借入金 1,000	9/ 4	支払家賃 600
借 入 金			
		12/ 1	現 金 1,000



(総勘定元帳)

現 金		備 品	
4/ 1 資本金 2,000	5/10 備 品 300	5/10 現 金 300	
7/ 1 売 上 1,500	6/13 仕 入 700		
12/ 1 借入金 1,000	9/ 4 支払家賃 600		
	2/25 車 両 700		

車 両		借 入 金	
2/25 現 金 700			12/ 1 現 金 1,000

資 本 金		売 上	
	4/ 1 現 金 2,000		7/ 4 現 金 1,500

仕 入		支 払 家 賃	
6/13 現 金 700		9/ 4 現 金 600	

Chapter 4 試算表（T / B）の作成 ... 転記が正確に行われたか否かを検証

- 残高試算表 ... 各勘定の残高を集計した一覧表

残 高 試 算 表									
平成×2年3月31日									
		借 方		勘 定 科 目		貸 方			
現 金				2,200	現 金			借 入 金	
4,500	2,300							1,000	1,000
	2,200			300	備 品				
				700	車 両			資 本 金	
備 品					借 入 金	1,000		2,000	2,000
300	300				資 本 金	2,000			
					売 上	1,500		売 上	
車 両					仕 入			1,500	1,500
700	700			700	支 払 家 賃				
仕 入				600					
700	700								
支 払 家 賃									
600	600								
				4,500		4,500			
					必ず一致				

練習問題（試算表の作成）

銀行を退職した A さんは、銀行で培ったノウ・ハウを活かして洋服屋を開業した。A さんが洋服屋を開業してからの一年間の取引は以下の様であった。よって次の取引を仕訳し、総勘定元帳へ転記し残高試算表を作成しなさい。

（取引）

現金 ¥ 3 0 0 , 0 0 0 を元入れして開業した。

退職した銀行より現金 ¥ 1 0 0 , 0 0 0 を低金利の条件で借り入れた。

商品販売のため、若者向けのソフトスーツ ¥ 6 0 , 0 0 0 とフォーマルスーツ ¥ 4 0 , 0 0 0 をアパレル会社より仕入れ、代金は現金で支払った。

若者向けのソフトスーツ全てを ¥ 1 0 0 , 0 0 0 で販売し、代金は現金で受け取った。

仕事が忙しくなり従業員 B を雇い入れた。

従業員 B に給料 ¥ 2 0 , 0 0 0 を現金で支払った。

仕入及び販売管理目的のため、ノート型パソコンを ¥ 3 0 , 0 0 0 で購入し、代金は現金で支払った。

練習問題 解答欄

(仕訳)

[illegible]

(総勘定元帳)

The diagram illustrates the flow of capital between a company and a bank. On the left, the company's T-accounts show a credit to '現金' (Cash) for 300,000 from '資本金' (Capital), a debit to '現金' for 300,000 to '借入金' (Borrowing), and a credit to '売上' (Sales) from '仕入' (Purchases). On the right, the bank's T-accounts show a debit to '現金' (Cash) for 300,000 from '備品' (Inventory), a credit to '現金' for 300,000 to '資本金' (Capital), and a debit to '給料' (Materials) from '仕入' (Purchases).

残 高 試 算 表

平成×2年3月31日

借 方	勘 定 科 目	貸 方
	現 備 借 資 売 仕 給	金 品 金 金 上 入 料

練習問題 解答

(仕訳)

(借)(現金)	(300,000)	(貸)(資本金)	(300,000)
(借)(現金)	(100,000)	(貸)(借入金)	(100,000)
(借)(仕入)	(100,000)	(貸)(現金)	(100,000)
(借)(現金)	(100,000)	(貸)(売上)	(100,000)
仕訳なし			
(借)(給料)	(20,000)	(貸)(現金)	(20,000)
(借)(備品)	(30,000)	(貸)(現金)	(30,000)

(総勘定元帳)

現金		備品	
資本金 300,000	仕入 100,000	現金 30,000	
借入金 100,000	給料 20,000		
売上 100,000	備品 30,000		
借入金		資本金	
	現金 100,000		現金 300,000
仕入		給料	
現金 100,000		現金 20,000	
売上			
	現金 100,000		

残 高 試 算 表

平成×2年3月31日

借 方	勘 定 科 目	貸 方
350,000	現 金	
30,000	備 品	
	借 入 金	100,000
	資 本 金	300,000
	売 上 金	100,000
100,000	仕 入 料	
20,000	給 料	
500,000		500,000

Chapter 5 決算整理と財務諸表の作成

- **決算整理** ... 1 年間の取引の結果（総勘定元帳の残高）を受け、財務諸表上の適正な数値を求めるための手続

決 算 整 理 前 残 高 試 算 表

平成×2年3月31日

借 方	勘 定 科 目	貸 方
20,000	現 金	
7,000	有 価 証 券	
10,000	備 品	
	借 入 金	15,000
	資 本 金	20,000
	売 上	35,000
28,000	仕 入	
5,000	給 料	
70,000		70,000

備品について¥900の減価償却費を計上する。

() 900 / () 900

有価証券の期末時価が¥6,500であったので評価替を行う。

() () / () ()

決算整理事項について

試算表上の金額を必要に応じて、修正する必要がある。この修正事項を決算整理事項といい、修正のための仕訳を決算整理仕訳という。

- ・減価償却費(資産の控除科目)の計上

建物・備品・車両などの固定資産を使用することにより生じる価値減少分を計上すること。

- ・有価証券(資産の控除科目)の評価替

有価証券(株式・社債等)の購入時の金額(取得原価という)を決算時の時価に修正することをいう。

- **財務諸表（F / S）の作成** ... 左記決算整理仕訳を決算整理前残高試算表に加味して財務諸表を作成する。

損 益 計 算 書

自平成×1年4月1日 至平成×2年3月31日

費	用	金 額	収	益	金 額
仕	入	28,000	売	上	35,000
給	料	5,000			
(	)	()			
(	)	()			
当 期 純 利 益		()			
		35,000			35,000

貸 借 対 照 表

平成×2年3月31日

資	産	金 額	負 債 ・ 資 本	金 額
現 金		20,000	借 入 金	15,000
有 価 証 券		()	資 本 金	20,000
備 品	10,000		当 期 純 利 益	()
()	()	()		()

勘定科目(3級)一覧表

貸借対照表項目			
資産科目(企業が所有するもの、権利・債権)		負債科目(将来返済しなければならない義務・債務)	
現金	通貨(硬貨と紙幣)、通貨代用証券など	支払手形	手形代金を後日支払うべき義務
小口現金	各部署の少額の支払のために、用途係に前渡ししておく資金	買掛金	商品を代金後払い(掛)で仕入れた場合に生ずる商品代金を後日支払うべき義務
銀行預金	銀行への預入金額(当座預金・普通預金・定期預金など)	未払金	商品以外を代金後払いで購入した場合に生ずる購入代金を後日支払うべき義務
受取手形	手形金額を後日受け取る権利	借入金	金銭を銀行などから借り入れた場合に生ずる後日返済すべき義務
売掛金	商品を代金後払い(掛)で販売した場合に生ずる商品代金を後日受け取る権利	手形借入金	金銭を借り入れ、借用証書の代わりに手形を振り出した場合の債務
商品	販売目的の物品(商品)の原価、分記法で使用	前受金	商品を引き渡す前に内金などを受取ったときの、商品を後日引き渡さなければならない義務
繰越商品	期末(又は期首)における売れ残り商品の原価、三分法で使用	当座借越	当座預金残高を超える小切手の振出額
消耗品	コピー用紙などの事務用品や包装材料などの未使用分	預り金	金銭を一時的に預かったときに生じる後日支払う義務
貸付金	金銭を取引先などに貸し付けた場合に生ずる権利	仮受金	現金を受け取ったとき、相手勘定が不明な場合に使う仮の勘定
手形貸付金	金銭を取引先などに貸し付けて借用証書の代わりに手形を受け取った場合の勘定	商品券	商品券の券面額相当の商品を引き渡さなければならない義務
未収金	商品以外の物品を売却したときに代金を後日受け取ることのできる権利	未払費用	当期費用のうちの未払額
前払金	商品を引き渡す前に内金などを支払ったときの、商品を後日受け取ることのできる権利	前受収益	受け取った収益のうちの翌期分(前受額)
立替金	取引先負担の運賃を代わりに払ったり、従業員の給料を前貸したとき生ずる権利		
他店商品券	他店の発行した商品券を受け取ったときに生ずる、交換会で買い取ってもらう権利	貸倒引当金	将来生ずる債権の回収不能に対する準備額
仮払金	現金を支払ったとき、相手勘定が不明な場合や金額が未確定な場合に使う仮の勘定	減価償却累計額	営業用固定資産の使用による減価額の累計、間接法で使用
前払費用	支払った費用のうちの翌期分(前払額)		
未収収益	当期の収益のうちの未収額	資本科目(事業主・株主が出資した分およびその増加分)	
(売買目的)有価証券	時価の変動による利益を得ることを目的として保有する株券、公社債券などの証券類	資本金	正味財産額(3級のみ)
建物	営業用の事務所・店舗・倉庫など	引出金	企業主の引出額 支払った
備品	営業用の机・いす・陳列棚・応接セット・各種の事務機器など		
車両運搬具	営業用のトラック・乗用車・オートバイなど		
土地	事務所・倉庫など営業用資産の敷地		
損益計算書項目			
費用科目(収益を獲得するために使われたものおよび労働力)		収益科目(ものおよび労働力を提供して得た対価)	
仕入れ	商品の仕入れ高(原価)三分法で使用	売上	商品の販売高(売価)、三分法で使用
給料	従業員に対する給料の支払額	商品売益	商品を販売したことによるもうけ、分記法で使用
広告費	新聞広告・チラシ・看板などにかかる費用の支払額	受取利息	銀行預金・貸付金・公社債などに対する利息の受取額
接待交際費	取引先などの接待および交際にかかる費用の支払額	受取配当金	株式に対する配当金の受取額
旅費交通費	出張にかかる電車代・宿泊代などの費用の支払額及び通常の電車代・バス代などの支払額	受取手数料	手数料の受取額
光熱費	電気代・ガス代などの支払額	受取地代	土地の貸し付けによる地代の受取額
消耗品費	コピー用紙などの事務用品や包装材料などの使用分	受取家賃	建物の貸し付けによる家賃の受取額
発送費	得意先に対する商品の発送にかかる運賃などの支払額	有価証券売却益	有価証券を売却したことによるもうけ
修繕費	建物・備品などを修理するのにかかる費用の支払額	雑収入(雑益)	営業とは無関係に生じた少額な収益
通信費	電話代・切手・はがきなどの支払額	固定資産売却益	固定資産を売却したことによるもうけ
租税公課	印紙税・固定資産税の支払額	貸倒引当金戻入	貸倒引当金の過大分についての戻入額
貸倒損失	売掛金などの貸倒による損失額	償却債権取立益	前期以前に貸倒れとして処理してある債権を回収したときの回収額
貸倒引当金繰入	貸倒引当金の不足分についての繰入額		
減価償却費	営業用固定資産の使用などによる価値の減少額		
支払地代	土地の賃借による地代の支払額		
支払家賃	建物の賃借による家賃の支払額		
支払利息	借入金などに対する利子(利息)の支払額		
手形売却損	所有手形を満期日前に換金する(銀行に売却する)際に支払う金利相当額		
支払手数料	手数料の支払額		
有価証券売却損	有価証券を売却することによる損失		
固定資産売却損	固定資産を売却することによる損失		
雑損(失)	営業とは無関係に生じた少額な費用		
雑費	上記以外の費用の支払額		
当期純利益(一会計期間で獲得することができたもうけ)			

(注) を付した勘定科目は、具体的な名称を付す場合が多い。 を付した勘定科目は、マイナス勘定である。